



新庁舎建設事業の推進

創造性・技術力等を審査し、設計者を決定

昌議美一內竹

② 3 基 る 設 加

A ①選定の理由は、町との協同作業を進めるパートナーとして、企画・技術提案等を提出させ、設計者の創造性、技術力、経験等を審査し決定する。選定委員は6人以内で構成し、「学識経験者」「住民代表」「町職員」を予定。参加資格要件は、庁舎建設の設計を経験した実績を有する設計事務所等を求める。基本設計完了は、平成25年3月末を予定。

- ・プロポーザル方式を採用の理由。
- ・選定委員の選定と構成。
- ・参加資格要件。
- ・基本設計完了までの日程
- ②事業費の概算と財源は。
- ③完成までの現庁舎の防災対策は。

**Q 防災拠点、災害復興
拠点となる新庁舎の建
設は早期実現が求められる
新庁舎建設基本構想【素
案】が策定された。事業の**

舍建設基金約10億円、起債で約20億円を予定。

③来庁者の安全確保のため各課のカウンターにヘルメットを設置した。

また、情報のバックアップとして滋賀県の保管センターでデータを保管している。オアシスセンターに対策本部としての機能が発揮できるよう準備を進める。

A black and white photograph showing the exterior of a large, modern municipal building, identified as Matsuyama City Hall. The building features a light-colored, multi-story facade with numerous windows. In front of the building is a wide, paved area with several cars parked in designated spots. The sky above is a uniform, pale grey, suggesting an overcast day.

建設予定地・中央公民館南館を解体

エスペランス丸山維持補修

計画的に更新を進める

A 阿久比町勤労福祉センターは、平成元年にオープンして22年経過しているため、施設の老朽化による不具合がある。

Q エスペランス丸山の利用者から、音響・空調に不便があると指摘されている。設備毎の耐用年数に合わせた維持補修を予算化すべきと考えるが、今後の方針は。

A 阿久比町勤労福祉センターは 平成元年にオープンして22年経過しているため、施設の老朽化による不具合がある。音響関係の設備は、逐次更新を進めている。空調関係の設備では、室温の調節が難しいなど、利用者の方にご不便をかけている。設置から長期間経過しており、補修部品の調達もできないため、計画的に更新を進めたい。



平成元年に竣工したエスペランス丸山